



## 岩手県環境保健研究センター

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目 11-16

TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

E-mail CC0019@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>



＝ お問い合わせ先＝

【担当】地球科学部 主任専門研究員 佐藤卓・部長 小野正文

岩手県内のヒトスジシマカの生息地域が一目でわかる

## ヒトスジシマカ生息リスクマップを作成しました

デング熱やジカ熱等のウイルス性疾患を媒介するヒトスジシマカは、地球温暖化などにより生息域を北に拡大しつつあり、県内の生息北限は盛岡市とされています。

当センターでは平成 21 年から継続している蚊類の調査結果と気温等のデータから、統計モデリング手法を用いてヒトスジシマカの生息条件を解析し、このほどヒトスジシマカの生息リスクマップ（岩手県）を作成しました。

### 1 ヒトスジシマカとは？

ヒトスジシマカとは、デング熱やジカ熱等のウイルス性疾患を媒介する東南アジア原産の蚊です。近年、地球温暖化などの影響により生息域を北に拡大しつつあります。活動期は、本県では6月上旬から10月上旬までであり、古タイヤの溜まり水など小さな水たまりで繁殖します。成虫は、通常灌木や草むらなどに隠れており、人が近くにくると吸血行動をおこす、待ち伏せ型の蚊です。



### 2 ヒトスジシマカの生息分布調査

当センターでは、ヒトスジシマカを地球温暖化を表す身近な指標生物と位置づけ、平成 21 年度から県内の生息分布域調査を実施しています。8 年間で延べ 555 地点を調査した結果、ヒトスジシマカは宮古市以南の沿岸南部から県南部、また、北上盆地沿いに分布しており、生息北限が盛岡市であること、また、ヒトスジシマカの生息地点の年平均気温が 10.8℃以上であることなどを明らかにしてきました。

### 3 ヒトスジシマカ生息リスクマップ

ヒトスジシマカの生息分布調査結果及び岩手県の 1km メッシュ気温データ※等を用いて、統計モデリング手法により、県内の 1km メッシュ毎のヒトスジシマカ生息確率を推計することに成功しました。

ヒトスジシマカの生息に関連する条件とは、「1 月平均気温」、「10.8℃を閾値とする有効積算温度」、「人口密度」及び「調査年における 4 月 1 日から調査日までの経過日数」であり、これらの条件を用いて、ヒトスジシマカの活動シーズン中の任意の日、任意の地域のヒトスジシマカの生息確率を算出することができます。平成 28 年におけるシーズン初期、中期、後期及び終期の生息リスクマップを次ページに掲載します。図中オレンジ色の地域には、過去にヒトスジシマカの生息が確認された地点の 92%が含まれます。

これらの成果については、第 69 回日本衛生動物学会大会（平成 29 年 4 月長崎市）で発表しました。また、今回作成したリスクマップやこれまでの研究内容、ヒトスジシマカから身を守る身近な対策などをホームページで紹介しています。

<http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/kankyoku/055574.html>

※菅野洋光、1997. ヤマセ吹走時におけるメッシュ日平均気温の推定、農業気象、53: 11-19.

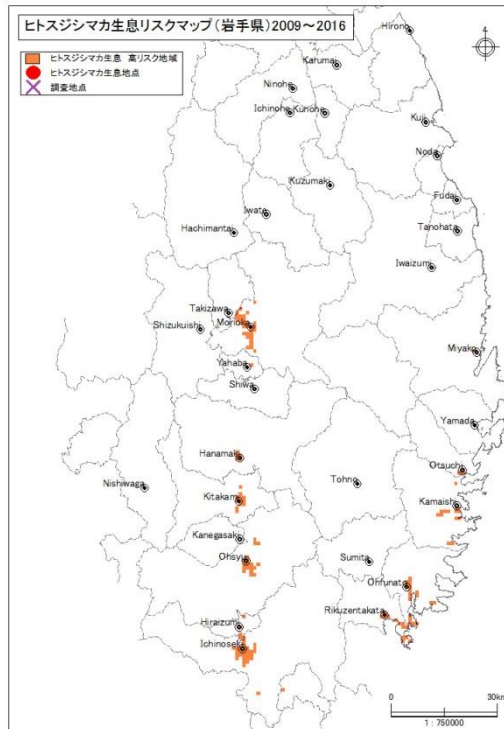
## ヒトスジシマカ生息リスクマップ<sup>o</sup> (岩手県)

**ヒトスジシマカの生息高リスク地域**

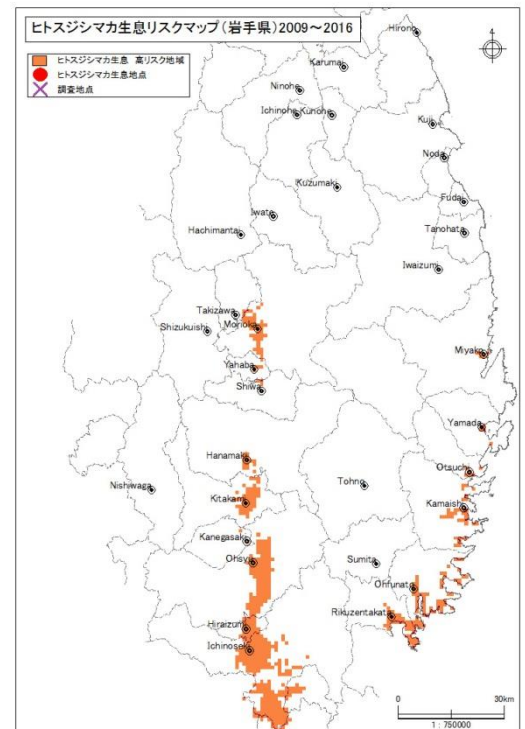
**ヒトスジシマカの生息高リスク地域**には、これまでにヒトスジシマカの生息が確認された地点の92%が含まれます。

岩手県のヒトスジシマカの活動シーズンは、毎年6月初旬から10月上旬までです。

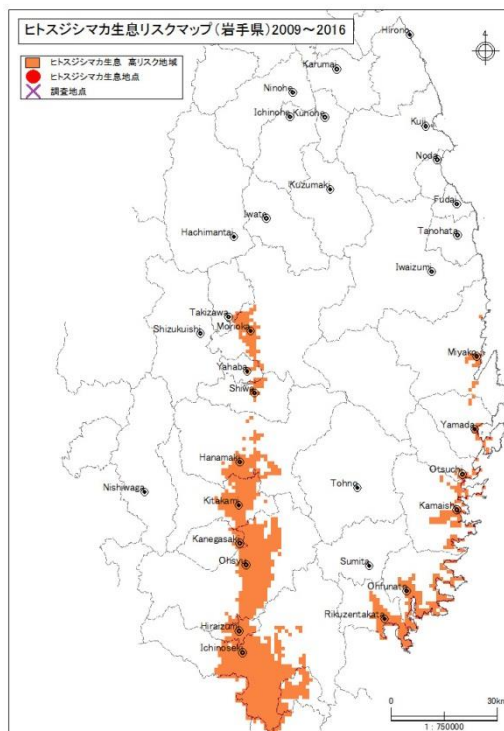
シーズン初期には、卵で越冬したヒトスジシマカが、限られた地域のみで生息が確認されますが、羽化した成虫はヒトなどにくっついて交通機関などで移動し、繁殖することを繰り返すことによってシーズン限定で生息域を拡大すると考えられます。



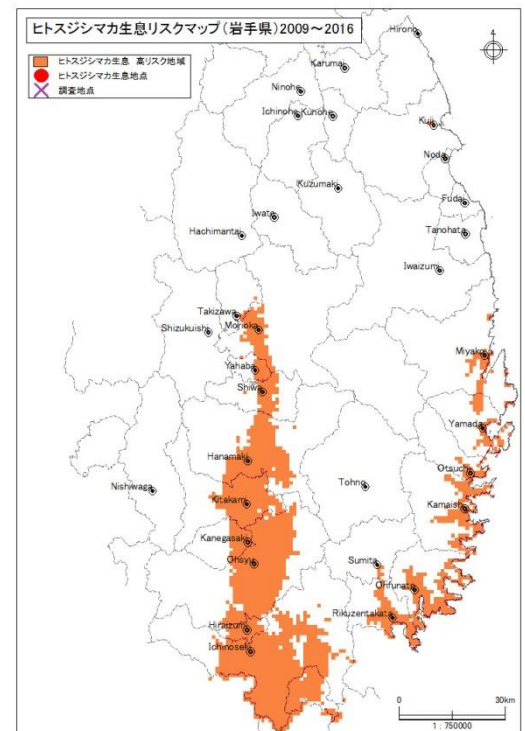
シーズン初期 (6月下旬)



シーズン中期 (7月下旬)



シーズン後期 (8月下旬)



シーズン終期 (9月下旬)